

教育研究業績

2025年 5月 1日

氏名 阿部 祐美子

| 研究分野 | | 学位 |
|--|---------------------------------|--|
| 老年看護学 老年学 リハビリテーション看護 | | 修士 (老年学) |
| 研究のキーワード | | |
| サービス付き高齢者向け住宅 口腔機能・嚥下機能 生活満足度 リハビリテーション看護 | | |
| 教育上の能力に関する事項 | | |
| 事項 | 年月日 | 概要 |
| 1 教育方法の実践 | 2019年8月～2024年2月 2024年4月～ | 大東文化大学スポーツ・健康科学部看護学科特任助手として、老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ、地域包括ケア実習、基盤看護学実習Ⅱの臨地実習指導を担当した。 西武文理大学看護学部の助教として、老年看護学支援論Ⅰ・Ⅱ、老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ、総合実習（老年看護）、看護とホスピタリティⅠ臨地学習、看護援助実習、基礎看護実習、災害と地域づくりを担当した。 |
| 2 作成した教科書、教材 | | |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価 | | |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項 | | |
| 1) 看護学生への実習指導 | 2010年～2019年 | 埼玉県看護協会看護学生実習指導者講習会修了し、看護学生（専門学校生・大学生）の老年看護学実習、チーム医療演習、総合実習、療養支援看護実習において、学生の学びが深められるよう指導を行った。 |
| 2) 川崎市医師会看護専門学校での講義 | 2018年7月 | 老年看護学方法論Ⅰ：高齢者の生活機能を整える看護の展開食事・食生活①・②の講義を行った。 |
| 5 その他 | | |
| 職務上の実績に関する事項 | | |
| 事項 | 年月日 | 概要 |
| 1 資格、免許 看護師免許 | 2004年4月23日 | |
| 2 特許等 | | |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項 | | |
| 1) 日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C） 「地域在住高齢者の口腔機能向上を目指した呼吸筋トレーニングプログラムの確立」研究分担者 | 2019年～2023年度 （最終年度のみ） | |
| 2) 日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C） 「看護学生向けロービジョンケア能力育成教育プログラムの開発」研究代表者 | 2025年～2027年度 | |
| 4 その他 | | |
| 1) 日本慢性期医療協会 | 2014年～2015年 | 介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修（不特定多数の者対象）の演習指導を行った。 |
| 2) 川島町社会福祉協議会介護職員初任者研修 | 2023年2月26日 | 介護職員初任者研修にて老化の理解（2）高齢者と健康の講義を行った。 |
| 3) 川島町社会福祉協議会介護職員初任者研修 | 2024年12月26日 | 介護職員初任者研修にてこころとからだのしくみと生活援助技術（食事）の講義を行った。 |

| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項 | | | | |
|---|---------|-------------|--|---|
| 著書, 学術論文等の名称 | 単著・共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概 要 |
| (学術論文) | | | | |
| サービス付き高齢者向け住宅入居者の嚥下機能と生活満足度の関連 | 単著 | 2022年3月 | 桜美林大学大学院老年学研究科修士論文 | サービス付き高齢者向け住宅入居者の嚥下機能と生活満足度の関連を明らかにした. |
| サービス付き高齢者向け住宅入居者の生活満足度と義歯使用および嚥下機能との関連 (査読付き) | 共著 | 2022年8月 | 応用老年学16(1), 108-118 | サービス付き高齢者向け住宅入居者の生活満足度と義歯使用および嚥下機能との関連を検討した. 著者: 阿部祐美子, 渡辺修一郎, 伊藤直子 |
| サービス付き高齢者向け住宅における高齢者の嚥下機能低下のリスクに関連する要因 (査読付き) | 共著 | 2024年3月 | 老年学雑誌14号, 61-73 | サービス付き高齢者向け住宅入居者の嚥下機能低下リスクに着目し, 関連要因を明らかにした. 著者: 阿部祐美子, 渡辺修一郎, 伊藤直子 |
| (学会発表) | | | | |
| サービス付き高齢者向け住宅入居者の生活満足度に関連する要因: 一嚥下機能との関連に着目して | 共著 | 2021年11月6日 | 第16回日本応用老年学会大会 | サービス付き高齢者向け住宅入居者の生活満足度の関連要因を明らかにした. 阿部祐美子, 渡辺修一郎, 伊藤直子 |
| サービス付き高齢者向け住宅利用者の口腔関連機能の現状 | 共著 | 2021年11月6日 | 第16回日本応用老年学会大会 | サービス付き高齢者向け住宅利用者の嚥下, 発声, 呼吸面から口腔関連機能の特徴を調査し現状を明らかにした. 伊藤直子, 渡辺修一郎, 阿部祐美子, 鈴木香, 佐々木華香, 齋藤崇志, 石川歳江 |
| Factors Associated with the Residents in Serviced Housings for the Elderly Facing the Risk of Dysphagia | 共著 | 2023年6月14日 | IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023 | This study investigated the Factors Associated with Residents' Dysphagia Risk among residents of Serviced Elderly Housing. Yumiko Abe, Shuichiro Watanabe, Naoko Ito |
| サービス付き高齢者向け住宅における入居者に関する研究の動向と課題 | 共著 | 2023年6月16日 | 日本老年看護学会第28回学術集会 | サービス付き高齢者向け住宅における入居者に関する研究に焦点あて, 文献検討し, 動向と課題について明らかにした. 阿部祐美子, 渡辺修一郎, 伊藤直子 |
| 高齢者の生活機能低下を予防する住まいと住まい方 | 単著 | 2023年10月28日 | 第10回日本予防理学療法学会 | オーガナイズドセッションにて, サービス付き高齢者向け住宅の生活満足度への口腔関連因子の影響について報告し, ディスカッションを行った. |
| 高齢者の口腔関連の機能低下を予防する新しいアプローチ | 単著 | 2023年10月28日 | 第10回日本予防理学療法学会 | オーガナイズドセッションにて, 高齢者の嚥下機能低下のリスクに関連する要因について報告し, ディスカッションを行った. |
| 終末期リハビリテーションにおける支援に関する文献検討 | 共著 | 2024年11月2日 | 第36回日本リハビリテーション看護学会学術大会 | 終末期リハビリテーションにおける支援に関する研究に焦点あて, 文献検討をした. 松岡志津香, 阿部祐美子 |
| (その他) | | | | |
| 特集: [認知症] [脳血管障害] [聴覚障害] の患者さんとのコミュニケーション | 共著 | 2023年5月 | 照林社: プチナース32(7), 33-40 | 脳血管障害の患者さんとのコミュニケーションの執筆を担当した. 構音障害・失語症の事例と対応を挙げ示した. 監修・執筆: 森田恵子 編集: 須佐公子 執筆: 郷原志保, 阿部祐美子 |